

東日本大震災から2年 支援活動の今後を考える

東日本大震災の発生直後、大阪市立大学大学院創造都市研究科都市共生社会研究分野では、教員、学生、修了生が中心となり、共生社会東日本地震被災者救援・支援の会を結成、2年間にわたり、支援活動に取り組んできました。しかし、被災者への社会的な関心が弱まる中で、これまでの活動を継続することは困難と判断し、活動に一区切りをつけるとともに、これまでの活動の成果をベースに、青少年の交流や復興支援などの活動を個別に継続していくことになりました。このため、これまでの活動を振り返るとともに、今後の被災地支援のあり方をどのように進めていくべきか、多くの方々と一緒に考える機会をもちたいと思い、これまで支援活動を中心に実施してきた気仙沼からゲストを招き、以下のようなシンポジウムを開催することにしました。

どなたでもご参加いただけますので、お気軽にお越し下さい。なお、このシンポジウムは、都市共生社会研究分野の入試広報の一環として実施するため、プログラム終了後、簡単な入試説明会を行わせていただきます。

- ★日 時 2013年7月29日(月)
午後6時30分から9時
- ★場 所 大阪市立大学
梅田サテライト101教室
大阪駅前第2ビル6階 JR北新地駅真上
- ★講 師 菅原昭彦さん
気仙沼市震災復興会議 委員
- ★司 会 柏木宏(大阪市立大学大学院教授)
- ★参 加 無料 ★予 約 不要

菅原昭彦さん



成蹊大学法学部政治学科卒業。(株)男山本店代表取締役社長。気仙沼の『食』を中心とした活動を通じて、地域を元気にする活動を展開しているスローフード気仙沼の理事長や、気仙沼商工会議所副会頭として、持続可能な循環型地域社会の実現を目指して、「食」をテーマとした活動を展開し中心的役割を担うとともに、観光振興、地域づくりや市民参加・協働のまちづくりの研修・講演の講師を務めている。東日本大震災後は、気仙沼市震災復興会議委員として、同市の復興計画の立案に関わるとともに、各地で被災地の状況や復興計画などについて講演を行っている。

共生社会東日本地震 被災者救援・支援の会

2011年3月の東日本大震災発生直後に、大阪市立大学大学院創造都市研究科都市共生社会研究分野の教員、学生、修了生が中心に結成した団体。2011年度と12年度に、大阪府の「新しい公共支援事業」の補助金を受け、大阪と気仙沼を中心とした宮城岩手県境地域の被災者への支援と同地域の経済復興、高校生など若者の交流などに関して、双方向的な活動を展開してきた。

お問い合わせ

NPOをツールに共生社会の実現に向けて活動する人材の育成をめざす社会人大学院……

大阪市立大学大学院都市共生社会研究分野

URL: <http://www.co-existing.com>, E-mail: info@co-existing.com